

紅緑偏「滑稽俳句集」を読み解く 7

2009.12.22 (聞き手 高橋素子)

高橋 今回で紅緑編「滑稽俳句集」の読み解きも七回目を迎えることになりましたよ。
これまでに面白く読み解いて戴いた百八年前の句がもう百五十句余り、驚く事実を教えて戴いたり、数々の名言が飛び出したりとても楽しい学習でした。

会長 迷言を名言とされ面映し
読み解くを趣味と思へば苦にならず・・・
読まされる立場なんぞは考へず・・・
紙の無駄インクのムダもものとせず

高橋 分かりました。
もうそのぐらいにして戴きま～す。(笑い)

では本日の学習に入る前に、「前回の会長の名言集」軽くここで振り返って復習させて戴きますね。

☆ 人となり吝にして辛き山葵かな 紅緑

この句からは、「親しい人を罵倒し軽く笑い者にして座の文芸を楽しんだ当時の様子」を・・・

☆ 鶯に窓明けたりや肥取か 紅緑

からは、「不似合いなふたつのものを同時に扱うと可笑しいが出て来ること」も教えて戴きましたね。

また、次のような句からは、「当時の滑稽句は肩肘はらず、まさに軽い「ふふふ」を楽しむ風など

ころがあった」ことも・・・

☆ 大仏の鼻から出たる燕かな 一茶

☆ 燕の巢を覗ふて蛇に驚く 虚子

会長 出会ったことで可笑しいとか心にとめたことをそのまま書く・・・これは基本ですね。
それは誰かに聞かせたい出来事なのです。
可笑しい出来事です。
それが俳諧の連歌だったわけで、私たちの日常会話のサービス精神と通じるものですね。

高橋 成る程！そういう事ですか？
では、今日は、「春動物」の部門、雲雀の也有の句から始めさせて戴きますね。

☆ 見付けても見付けぬとても雲雀哉 也有

ということは、詠み手は声だけ聞いて雲雀の姿は見えないわけですね。

会長 雲雀・・・本意は「声」ですから 声さえ聞ければよいという句ですね。 姿なんかどうでもいい・・・といってるわけです。

高橋 ☆ 晝飯をたべにおりたる雲雀哉 一茶
☆ 風喰って鳴きそこねたる雲雀哉 紅緑

ご説明下さいね。

会長 雲雀は午前中から天高くにとどまって鳴いています。あれは地上の巢を見守っているんです。
用心深い鳥で巢に戻る時も巢から離れたところに降りる。飛び立つ時も 離れたち頃から飛び立つ・・・わけです。
小鳥は食いだめはできませんから「晝飯をたべ

に」ですね。

高橋 「雲雀」と言えば会長も

★ 少年の指に撃たるる揚雲雀 健

という面白い句を詠んでいらっしゃいますね。
次の季語は「雀子」ですが、これにも

★ 雀の子餓鬼大将の懐の 健

と言う句が・・・確か

会長 ★ 指に撃たるる・・・

は少年が 指をピストルのかたちにして バーン
と撃つ真似をしているところを描きました。雲雀
の季語の本意を裏切ったのです。滑稽は 季語の
本意を如何に裏切るかにあります。

★ ガキ大将・・・

雀の巣を取りに行って雀の子を懐に入れて持ち帰
る風景です。
今はそんなことする人いませんが・・・意気揚々と
引き上げるガキ大将のあとについて歩きました。
ははは

高橋 では、百八年前の「雀子」の句に参りま～す。
子供でも知っている一茶の凄く有名な句が出て来
ましたよ。

☆ 雀の子そこのけそこのけお馬が通る 一茶

☆ 杵さきや頭あぶない雀の子 一茶

この句からもまた類似の多くの句からも、生涯を
懸けて弟と財産争いをした様な世俗的な一茶の姿
はまるで見えず、その反対の良寛様の様な優しい

童心の一茶の姿のみが見えてきますね。
一茶は厳しい現実的な生活の中から何故こんなにも優しい童心の句が詠めたのでしょうかいつも不思議に思っているのですが・・

会長 現実が厳しいからこそ 小動物にやさしいのです。一茶自身が雀の子になっています。
厳しい世俗的な面とやさしい仏様のような面と一本の棒の両端にあるのです。
真ん中では繋がっている。
二面性を言われることが多いのですが。
そうじゃないですね。

高橋 成る程よくわかります。
それでは、次の句に参りますね。

☆ 雉追ふて叱られて出る畠かな 太祇

男の子なら、まさに誰もが経験したような・・
特に会長は、腕白なお子様でいらっしゃた様ですから・・
何かこの様な面白いエピソードがおありになりそうですね。（笑い）

会長 ★小鳥では・・梟を飼ったことがありますよ。
小川で小魚を獲ってきて食べさせましたが、面倒みきれなくて放しました。
雲雀を飼ったこともあります・・餌溜まりで死んでしまいました。
手乗り雲雀にしようとしたのですが。
これも古い話です。

高橋 そうですか？
会長もご幼少の頃からいろいろ動物に関心をお持ちになっていたわけで、それが大人になられた今、童心で俳句に繋がっているという面では、一茶と同じですね。

次の季語は「鹿の角落つ」牡鹿の角は春になると

自然に落ち初夏に再生するのですね。

☆ **小男鹿に手拭かさん角の跡** 一茶

さ男鹿のさは接頭語ですから、男鹿の落ちた角跡が痛々しく見えてこの様な句になったのですね。

☆ **角落ちて雌鹿に顔をかくしけり** 大江丸

牡鹿は角が無い事を恥じているようですね。
こんな姿だけは彼女に見せたくないと（笑い）

☆ **鹿の角右だけ落とし可笑しさよ** 蒼苔

☆ **角落ちて鹿出家せりと思ふらん** 紅緑

まさかそんな事、鹿が・・・！
これは詠み手の想像、思い込みですね。（笑い）

会長 滑稽句は「思い込み」が肝心です。
擬人化が、そもそも思い込みですからね。
その上で写生表現すると説得力が生まれます。

★**角落ちの鹿や雌には顔かくし** としましょうか

★**角落ちの片一方は落ちぬまま**・・・

★**出家の気分や角落ちの鹿となり**・・・としますか

高橋 さすが会長 添削がお上手ですね。

会長 鹿られそうだな

高橋 パチパチ、馬〜い！（笑い）

では、次に参りま〜す。

季語は「帰雁」です。我が国で越冬し、春になって北へ帰る雁ですね。

☆ 行がけの駄賃になくや小田の雁 一茶

☆ 帰りなんいざと雁よびつれて 鳴雪

ご説明下さいね。

会長 ★「行がけの駄賃」馬子が問屋へ荷物をとりに行く途中、別の人に頼まれた荷物を運び、運び賃を稼いだことから生れたことですね。
「小田の雁」・は季語になっていますね。
・・とすると 横着な雁ですね。

★「帰りなんいざ」・・さあ帰ろう、田園が荒れようとしている・・有名な陶淵明の詩に雁を引き連れてですね。

高橋 「帰去来(ききょらい)辞(のじ)」全ての官職を退けて田園に生きる決意を語った陶淵明の詩ですね。
次の季語は「鷹化為鳩」です。

☆ 鷹化して鳩になりけり豆鐵砲 圭虫

会長 穏やかな春爛漫の季節には鷹も穏やかになり鳩と化してしまうと言う・・季語です。..

高橋 うわー！
次の季語は「猫の戀」ですが、流石当時の俳人たちにも面白がられたのですね。物凄い句の数ですよ。猫の恋と言えば、

★ 猫の恋一糸纏はぬ声を出し 健

という会長の素敵な句がすぐ頭に浮かんで来ますが、会長も猫の句は沢山お詠みですね。

会長 ★ 恋猫に包囲されたる一軒家・・・とか

高橋 恋に狂った雄猫たちが雄叫びの声を上げて雌猫を追一軒家の周りをぐるぐると・・・家の中の人のうんざりした様子を想像するだけでも面白い句ですね。

では当時の「猫の恋」の句ご解説下さいね。

☆ 両方に髭があるなり猫の戀 來山

☆ 諫めつゝ繋ぎ居にけり猫の戀 太祇

☆ 髭につく飯さへ見えす猫の戀 太祇

恋の為なら食べることを忘れて・・・という激しい恋の猫ですね。（笑い）

会長 ★ 両方に髭があるなり、人間はオスだけに
髭があるが猫はメスにも髭があるというのが
可笑しいというんでしょうが人間も最近
は、
猫に近づいて・・・ウソです

★ 諫めつつ繋ぎ。

猫に首輪つけて繋いでおいたんですね。

動物愛護じゃないね。

今の世の中は「お猫さま」状態ですからね

★ 髭につく飯・・・恋は盲目は猫の世界も
ということでしょう

高橋 ☆ のら猫や妹がり行けば鼠鳴く 吟江
☆ 門番が明けてやりけり猫の戀 一茶
☆ 戀猫のぬからぬ顔で戻りけり 一茶

広辞苑に「ぬからぬ顔」は何事もそ知らぬ顔つき
と言う意味もありますから、正にこれは猫被りで
すね。（笑い）

会長 ★妹がりは親しい女のいるところ猫同士のこと
になっているから「鼠さん」は手持無沙汰ですね。

★門番の粋なはからい あけてやる・・

★ぬからぬ・・抜かりない顔・・そう！
正に猫被りですね。

高橋 続けま～す。

☆ うかれ猫奇妙に焦げて戻りけり 一茶
☆ 猫の妻いかに久しき炬燵より 大江丸
☆ 忍ぶれど猫に出けり我戀は 子規

「忍ぶれど色に出にけり我が戀はものや思ふと人
の問ふまで」三十六歌仙の一人平兼盛の歌で百人
一首でよく知られていますが、子規はこの歌のパ
ロディーの句を作ったという事ですね。（笑い）

会長 ★奇妙に焦げて・竈まで追いかけて尻尾を焦がし
たか・・・・・・

★久しき炬燵・なんと長いこと・「こたつむり」
になってたんでしょうね

★猫に出にけり・・とんでもないパロディーです
ね 猫は隠さないから ということは人間の恋が

猫なみにあからさま という意味なんです

高橋 えっ！そういう意味なのですか？
そういう方面には疎いものですから・・・（笑
い）
ところで、まだまだ猫の句続きますよ。

☆ 両方で睨み合ひけり猫の恋 子規
☆ 猫の五器隣の妻に喰れけり 鳴雪
☆ 我戀を魚に思ひ代ふる猫 圭虫
☆ 戀猫の戀を見て居る鼠かな 紅緑

ご説明くださいね。

会長 ★恋猫はオスがメスを追いかけるのが通常のパ
ターンですが、これは対等というかメスも強いのが
いるんです。猫のことですよ

★ 五器は食器ですね。となりの猫が空き巣ねらい
をして餌を食べちゃった
猫の恋留守番猫を雇はねば・・・ですね

★魚に思ひ・・・代ふる。これは失恋の猫なんです。
恋に破れたけど魚を獲りそこなったようなものだ
と自分を慰めているわけです

★ 猫の恋の露骨なさまを見て鼠も呆れて
しばらくは・・・安全だと 喜んでいるわけです

高橋 ご説明お聞きすると又、一段と面白いですね。
会長は猫にかこつけてどうも、人間にも髭が生え
強い女性がいるとおっしゃりたいみたい！（笑
い）

それに「魚に思ひ代ふる」が失恋の句だなん
て・・・ところで、恋猫の句はまだまだありますよ。
本当に当時の方々も猫の恋は俳句の題材にお好き

だった様ですね。

☆ 戀猫の戀門番に妻なかりけり 紅緑

☆ うかれ猫鼻くろぐろとおはしる 紅緑

やっと猫の戀の季節も終わったようですよ。
(笑い)

会長 ★門番の悲哀ですね。
あるいは門番の恋猫妻を隠したということに
★鼻くろぐろ・・・は元気がいい証拠でまだ元気い
つぱい 为什么呢

高橋 次の季語は「蛇穴を出づ」です。
今日の学習はここまでにさせて戴きますね。
ご解説よろしくお願い致します。

☆ 天子賢良を招き蛇穴を出る 虚子

会長 天子様が賢者を招くと聞いて 知恵者の蛇が穴から出て
くる。
人間にもそんなのがいますよ 可笑的ですね

高橋 温故知新。
今回のご解説には、お腹を抱えて笑ってしまいま
したが・・・お陰様で面白く学習しながら、また一
段賢くなったような気が致します。

次回また、どんな面白いお話がお聞き出来るかと
楽しみです。

会長 私も読み解く経過で随分と勉強になります
いかにして知ったかぶりをするか・・・
だいぶうまくなりましたよ。(笑い)

(2009年12月号)